

こうほう

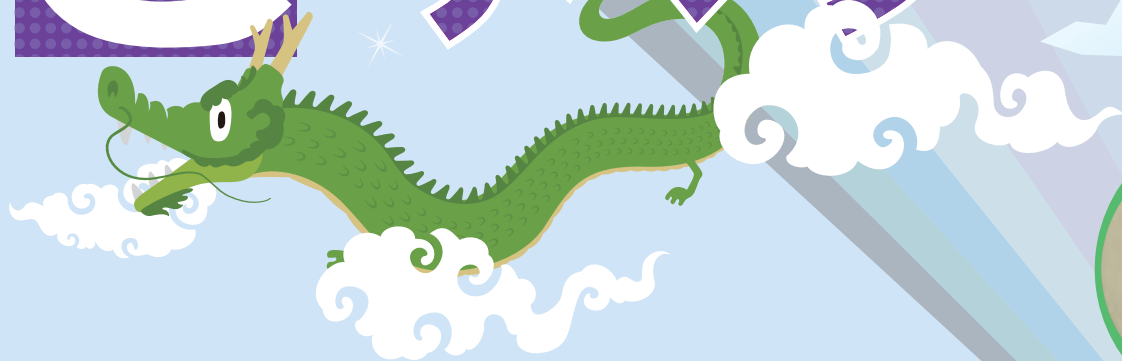


Kouhou
Sarabetsu

2012

1

No.592



ひらやま りんごくん



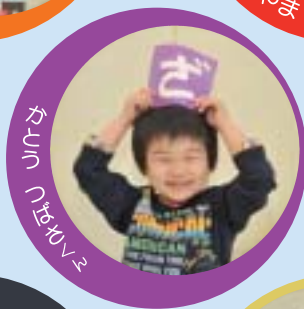
おののこみけく



ひらやま せいだいくん



たけなみ ねこく



たけなみ しほく



まつはし たいく



さかもの ゆきく



さかもの りんく



たかはし あいく



わがその しあんく



たかはし あいく



さかもの りんく



ありがね まさく



さかもと かなちゃん



まつはし あんなちゃん



たけなみ しほく

皆さんにとって良い年でありますように。

上更別幼稚園児一同より

特集 更別村長・更別村議会議員 年頭のご挨拶



更別村長
岡出 誠 司

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご壮健にて、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より村の目指す『いつまでも住み続けたいまち』づくりに、多大なご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

更に、昨年3月11日発生の千年に一度といわれる『東日本大震災』で、壊滅的な被害を受けた友好姉妹都市の東松島市への緊急支援につきましても、皆様の多大なご支援を頂きました。改めて、衷心より感謝申し上げますとともに、東

松島市の早期復興をお祈り致したいと存じます。

昨年、本村の基幹産業である農業におきましては、異常気象や台風の影響を受けながらも、農業関係者の懸命なご努力と高い技術力をもって、管内的にも優れた実績を上げられ、更別農業の力強さを示されたことを誇りに思っております。

しかし、農業の情勢は、T P P 参加問題など、国際化の中で、極めて厳しい時を迎えており、何れにしても今年は、将来の更別農業のあり方について、真剣な議論が必要であると思っており、多くのご意見やご提言などをお願いするものであります。先ずは、今年が天候に恵まれ、豊作の年となりますよう願っております。

また、本年は高規格幹線道路更別インターチェンジが開通予定であり、本村の交通環境も大きく変化してまいります。

こうした環境の中で、更別村商工会も50周年という節目を機に、新たな一歩を踏み出しており、より協働、協調、連携を基本にして活性化を進めなければならないと思っています。

おります。

更に、大震災を教訓に、少子高齢化社会という現実、安心して安全に暮らせる地域をつくるため、介護・医療・福祉の充実、次代を担う子育ての支援、防災対策の強化など鋭意取り組みを進めてまいりたいと思っております。

特に、これからの村づくりには、安全・安心のクリーンな農業づくり、安全・信頼の特産品づくり、豊かな農村空間を活用した観光の振興など、多様な展開が必要となり、このためにも『日本一美しい村』というイメージづくりが、更別村にとって、とても大切なことと思っております。皆で力を合わせて『日本一美しい豊かな村』をつくる。そして厳しい時代だからこそ、夢と希望ある村づくりが重要と考えております。

こうしたことを念頭に、職員とともに一丸となって頑張っており、今年も格別なご支援とご協力をお願い申し上げます。

皆様のますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

日本一美しい豊かな村を

温かな光に包まれた村を

家族の皆様お揃いで輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、永久に忘れることのできない3月11日の東日本を襲った大震災、大津波による甚大な被害、そして原発事故が発生しました。その中、被災された皆様には衷心よりお見舞いとお悔やみを申し上げますとともに、笑顔で生活できますよう被災地の早期復興、復旧を強く願うものであります。友好姉妹都市の東松島市においても地震、津波により甚大な被害に遭遇され、被災直後から当市への村民からの救援物資や義援金を始め、

更別村議会議長
木 山 幸 則

職員派遣などと迅速に対応する中、皆様の温かいご支援に対して心から厚く感謝申し上げます。

農業関連では、春先の降雪、雨天による播種作業の遅れがあつたものの、その後は好天に恵まれ各農作物が順調に生育しました。が、小麦の早期仕上がりによる減収や長雨による影響で菜豆類の発芽、色流れなどで大きな被害がありました。また、酪農において生乳生産量の低下、肉用牛価格の低迷などもありましたが、97億円の農業粗生産額を確保したことは農家の皆さんの土づくりへの取り組み、関係機関の指導など、輪作体系が確立されていることによるものと推察いたします。

そして、T P P交渉の協議参加を表明した政府に対して、基幹産業である農業に加え、地域経済の雇用、食の安全などに大きな影響が懸念されることから関係機関・団体と協調連携し、断固加盟阻止の行動をしなければと思います。

また、商工業関連では昨年、村商工会が設立50周年を迎え、各商工事業の発展推進に寄与貢献された皆様の日頃のご努力に敬意

を評する次第であります。今後も街を彩るイルミネーションのように温かな光に包まれた村がいつまでも続くことを願うものであります。

更に、更別農業高校では農業クラブの技術競技大会やウエイトリフティング大会での活躍を始め、地場産品のすももを活用した商品が開発され大きく貢献されています。高校再編の動きがある中で、今後も関係機関と連携して地域挙げて更なる支援を継続して行かなければなりません。

議会では、議会の活性化が叫ばれる中、定数8人での委員会の在り方など、議会活動の改革に向けて検討を進めております。第5期総合計画の基本目標『いつまでも住み続けたいまち』を念頭に、村民一丸となった協働のまちづくりを推進し、地域の諸課題についても皆様の声を拝聴し議会の任を果たしていく所存でございます。

今年も良い1年でありますように切に願ひ、皆様のご多幸、ご健勝をご祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

12月1日から ドクターヘリの 運航が開始されています



南十勝消防事務組合では12月1日からドクターヘリの運航が開始されています。このことで南十勝消防事務組合更別支署を含む全ての4町村でドクターヘリの要請が可能になりました。

ドクターヘリとは、医療機器を装備し救急医療に精通した医師と看護師が搭乗する救急医療専用のヘリコプターです。医療機関に負傷者を搬送するだけでなく、救急現場で初期治療を始められるため救命率の向上が期待できます。

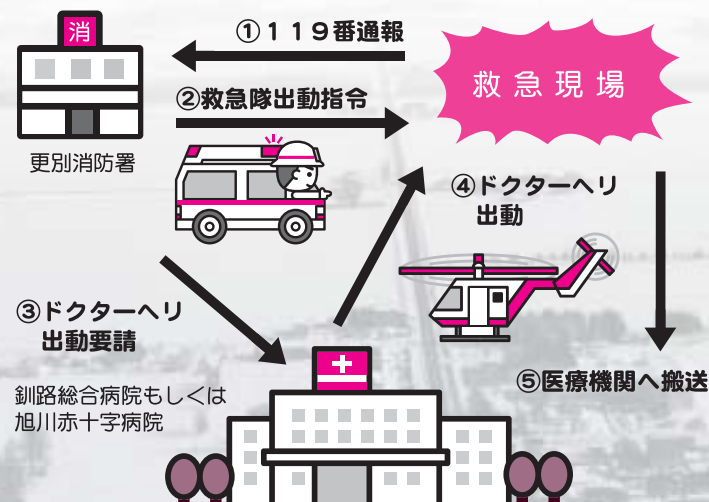
ヘリの要請は、119番通報や救急現場で医師の早期治療が必要と判断した場合に、消防の救急隊がします。住民からの直接要請はできません。天候の状況などにより要請できない場合もあります。

ります。運航時間は、おおむね午前8時30分から午後5時までですが、日没時間の関係上、季節によって多少変動します。

この要請するヘリは、市立釧路総合病院が運用している『道東ドクターヘリ』と日本赤十字社旭川赤十字病院が運用している『道北ドクターヘリ』になります。それぞれ釧路市と旭川市から飛行して来ますので、要請して35分から45分程度の時間を要します。ヘリの出動や搬送にかかわる費用は掛かりませんが、救急現場での治療に伴う費用は傷病者本人や家族の負担となります。

また、救急隊とドクターヘリが合流する緊急離着陸場(ランデブーポイント)は、村民グラウンドやふるさと館などを予定しています。着陸前に現場周辺にいる人に分かるよう消防車のマイクを使いお知らせします。騒音などでご迷惑をお掛けする場合がありますが、ご理解とご協力をお願いします。

要請から搬送までの流れ



- ・病院のドクターヘリ通信司令室に出動要請が入ったら病院から5分以内に医師と看護師が同乗し出動します。
- ・現場付近に着陸し、救急隊と協力し治療を開始します。
- ・搭乗医師の判断で医療機関へ速やかに搬送します。

要請事例

次に挙げるような事態が起こった場合にドクターヘリの要請が予想されていますが、ヘリの到着までに時間を要するため、現場の救急隊などが総合的に判断し決定します。

- 大規模災害・事件
事前に予測されていない短時間で大量の負傷者が発生する大規模災害や事件が起こった場合。
- 重症患者の発生
高度な治療を必要とする負傷者の搬送に長時間を要する場合。
- 交通事故の発生
事故などで救出に時間がかかり早期の本格的治療が必要な場合。
- その他
生命の危険が切迫している場合。

商工会50年の歩み

昭和36年12月	商工会設立総会開催
37年2月	北海道知事から設立認可 商工会設立登記
38年8月	第1回盆踊り大会開催
43年6月	商工青年部設立
46年10月	商工会館落成式
48年7月	商工婦人部設立
54年6月	商業・工業・サービス業部 会設置
62年4月	現商工会館改築完成
平成3年6月	(株)アドバンス設立記念式典
5年7月	更別どんぐりスタンプ会 発足
9年8月	どんぐり村仮装盆おどり 開催
9年10月	バイ更別・ふれあいラリー 開始
15年7月	国際トラクターBAMB A開催
16年9月	全日本オープンパークゴルフ inさらべつ開催
20年3月	中札内村商工会と広域連 携契約調印
20年8月	夏!さらべつビア・ガーデ ン開催
20年11月	公益通貨『サ拉里』流通開 始
23年10月	設立50周年記念植樹
23年11月	設立50周年記念式典

昭和36年12月に設立総会を開き、翌年の2月に設立登記を行い法人として活動を開始した村商工会(赤津寛一郎会長)が設立50周年を迎え、11月20日、社会福祉センターで記念式典を開きました。

式典では、半世紀の節目を祝い商工会員などの関係者、約100人が出席しました。赤津会長が「更別村の皆さんの手厚いご支援のおかげで、この日を迎えられました。新たな50年に向かい商工会の役割を再認識し、地域の実情を把握し、地域の振興発展と活性化に



更別村商工会設立50周年

◆商工会功労者表彰

●歴代会長表彰

7代 故 片岡 敏朗
8代 故 高木 光雄
9代 西田 勉

●勤続役員表彰

37年 石村 久男
32年 故 漆川 隆洋
32年 故 赤津寛一郎
29年 堀井 新吉
26年 故 市川 博雄
19年 故 石田 茂夫
18年 故 小川 勘一
18年 山内 信男
16年 霜野 幸夫
15年 太田 智範
14年 故 廣瀬宗太郎
14年 西山 良實
13年 砂金 弘一
13年 高木 修一
12年 佐藤 功
12年 高橋 正幸
12年 安江美代子

◆商工業永年勤続

優良従業員表彰

●全国商工会連合会長表彰
30年勤続
井口 勇夫 (株)山内組
辻 成人 (株)山内組
●北海道商工会連合会長表彰
20年勤続
兼口 幸雄 (株)山内組
今井よしみ お菓子のニギマ
林 恵理子 (株)マルハニチロ北日本十勝工場

◆北海道十勝管内商工会連合会長表彰

15年勤続

曾我 澄男 (株)山内組
齊藤 聖 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
鈴木 貴志 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
日崎 喜康 (株)ヤマジヨウ
守谷喜代美 (株)ヤマジヨウ
氏家 和彦 北央路工業(株)
更別村商工会長表彰
10年勤続
清水 隆興 (株)山内組
宮井 仁志 (株)山内組
窪田 純二 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
原 光隆 三立運輸(株)
武田 隆治 (株)大樹協同商事
国本 久美 (株)大樹協同商事
木村 季代 (株)大樹協同商事
島田 真美 (株)大樹協同商事
森田 弘二 (株)更別企業
5年勤続
中村 瑞男 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
上村 博幸 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
吉根 雄介 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
長濱 雄一 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
佐々木文嗣 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
澤口 伸吾 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
林 武生 (株)マルハニチロ北日本十勝工場
前多 重和 (株)ヤマジヨウ
竹田 和幸 (株)アクリサポートさらべつ
宇野 寛則 (株)アクリサポートさらべつ
米田 進二 (株)アクリサポートさらべつ
日光 陽太 (株)アクリサポートさらべつ
辻本 一彦 (株)一般社団法人オアシス
安井真由美 (株)一般社団法人オアシス
鈴木 志麻 (株)一般社団法人オアシス
白戸 哲弥 (株)大樹協同商事
島田 祐子 (株)片岡商店

※敬称略

いしむら ひさお 石村 久男 さん（本町）

叙勲を受章

平成23年秋の叙勲で、本町の石村久男さんが地域の消防団で防火などに尽力された永年のご功績を認められ、瑞宝双光章の叙勲を受章。12月8日に伝達式が執り行われ、十勝総合振興局地域政策部長の由川孝典さんから勲記などが手渡されました。

石村さんは昭和28年に更別消防団に入団。更別消防団長などを歴任され、平成15年の退任まで消火活動や防火啓発の推進などに取り組まれました。

伝達式で石村さんは「消防団員として活動してきたことを誇りに思っています。団員や職員、地域の皆さんの支えがあったからこそ職務を全うし、このような栄誉ある章を頂くことができました。これからも健康に留意し、消防活動を応援していきたいです」と受章の喜びを話してくれました。



前列左から 岡出村長、石村久男さん、由川部長

保健だより vol.10

✓ テーマ 冬の健康づくりと食事

冬になると動くことが減り、間食・外食の機会が増えたり、野菜不足などから、体重や体調が気になるという方も多いのではないのでしょうか？

人間ドックや総合健診の皆さんの結果をみると、血糖値・脂質異常(コレステロールや中性脂肪)・血圧の項目で基準値を超える方が多くなっています。これらの結果には、日頃の生活や食事の影響が大きく、地域的にいも類や砂糖・菓子類など糖質の摂取が多い私達にとって、糖質に偏らないなど食事のとり方に気をつけることが大切です。

❖ 冬に気をつけるポイント

- ❖ 野菜不足にならないよう、いも類など保存野菜だけでなく、葉物やきのこ類などと組み合わせて食べることが大切です。
- ❖ 体を動かす機会が減る方は、食事量を少し控え、特にご飯が多い方はお茶碗を小さくするだけでも効果的です。

健康づくりの栄養教室

時間 午前10時～午前11時45分
場所 福祉の里総合センター集会室

生活習慣病の予防と改善に向けて体と食事の関係をテーマにした『健康づくりの栄養教室』を開催します。自分自身や家族の健康が気になる方などにおすすめです。

1回目 1月31日(火)	2回目 2月9日(木)	3回目 2月23日(木)
『今からできる 糖尿病の予防と改善』	『美味しく食べて 血液さらさら』	『高血圧予防と腎臓を 守る食事のコツ』
血糖値の仕組み・予防ポイント・注目される糖質のとり方・試食(もちもち玄米)	脂肪の役割・美味しく食べて改善のコツ・試食(簡単きのこ料理)	体に合わせた塩分の目安・塩分を排泄するには・試食(薄味みそ汁)

※3回シリーズですが、1回だけの参加も可能です。参加希望の方は1月18日までに保健福祉課にお申し込みください。

●申し込み・問い合わせ 役場保健福祉課(福祉の里総合センター内)保健・栄養担当 ☎53-3000

各課・施設の電話／メールアドレス → 総務課 ☎52-2111 ✉soumu@sarabetsu.jp
→ 企画政策課 ☎52-2114 ✉kikaku@sarabetsu.jp

主な案件を紹介します

毎年1月に開催している行政区懇談会を今年度も開催します。1月16日から1月31日までの間で開催希望する農村地区の行政区は役場企画政策課に連絡してください。また、質問がある場合は開催日の3日前までに質問内容を記入した用紙を提出してください。概ね1時間30分程度の開催時間を考えています。

行政区懇談会を開催します

平成24年度の村の主な事業予定では、「公営住宅建設事業」若葉町8戸建設など、「除雪機械更新事業」除雪グレーダ購入、「医療用品備品購入事業」電子カルテ、レセプトシステム更新、「コミュニティプール改修事業」温暖房機更新工事などの49の事業が予定されています。

平成24年度 主な事業予定について

毎年1月に開催している出前健康講座を今年度も開催します。『東日本大震災をきっかけに考える人生や日常に遭遇するストレスへの対処のコツ』をテーマに村診療所で勤務する医師が講師として各行政区で講演します。講演時間は1時間程度です。開催希望する行政区は村診療所に連絡してください。

出前健康講座を開催します

消費者出前講座を ご利用ください

消費者問題やクーリングオフ制度などを知ってもらおうと、村内在住の方が5名以上集まった会合やサークルなどで消費者出前講座を実施しています。午前10時から午後4時までの間で1回につき2時間以内で消費生活相談員を派遣しています。希望の方は申込書を役場産業課(ふるさと館)に提出してください。

募金団体を通じて行った東日本大震災義援金の寄附金控除について

平成20年度税制改正で、どこの都道府県、市町村に寄附をしても、所得税と個人住民税の寄附金控除を受けることができる『ふるさと納税』制度が導入されました。

この控除を受けるためには税の申告が必要で、申告時には都道府県、市区町村が発行した受領書が必要となりますが、東日本大震災の被災者救援を目的として募金活動を行う団体に対する義援金については被害状況を考慮し、自治体発行の受領書に代えて、次のいずれかの書類で差し支えないことになりました。

- ①募金団体が寄附をされた方に発行した受領書又は預り証
- ②振込依頼書の控え又は郵便振替の半券(ともに原本に限ります)
※この場合、②の書類などに記載された口座が、募金団体が設けた義援金の専用口座であることが確認できる新聞記事、募金要綱又は募金趣意書などの写しが必要です(募金団体が日本赤十字社又は中央共同募金会である場合は不要)。
- ③新聞社などが募金団体である場合、寄附者の住所、氏名、寄附金額を掲載した新聞記事など

いずれの場合も、募金団体に対する義援金が、最終的に被災自治体もしくは被災自治体が関係機関と組織する義援金配分委員会などに拠出されることが、新聞記事、募金要綱、募金趣意書などで明らかにされていることが必要です。

●問い合わせ 帯広税務署 ☎24-2161 役場住民生活課住民税担当 ☎52-2112



村道維持管理業務に携わる村内の事業所で、労務災害防止と交通安全対策の推進を目的に組織される村道路維持連絡協議会（廣瀬英明会長）が、本格的な除排雪シーズンを前に事故防止への意識をより一層高めようと、社会福祉センターで安全大会を開催しました。

大会には、村内の5事業所34名が参加し、廣瀬会長が「生活路線にはいろいろな人が通ります。どんな人が通っても支障がないよう安全な除雪作業に心掛けてください。本日から3月31日までの期間、251の除雪路線で事故のないよう宜しくお願いします」と挨拶し、参加者を代表して、更別森林組合の齋藤勝弘さんが安全宣言を読み上げました。

11/24

除雪作業の安全を願う



12/1 第48回芸能発表会

今年で48回目となる村総合文化祭芸能発表会（実行委員会主催）が社会福祉センターで開催され、村内の小・中学校や末広学級など12団体、約200名の皆さんが太鼓や民謡、舞踊などを披露しました。

開会式では六戸功治実行委員長が「多くの皆さんに出演していただき感謝しています。出演者の皆さんを最後まで温かく見守って応援してください」と挨拶を述べ、末広学級の加藤富士子さんのカラオケ「長崎の雨」で幕開けしました。

幼稚園児の可愛らしいダンスや中学生の美しい歌声の合唱、綺麗な音色の太鼓の演奏など、会場からは大きな拍手が送られていました。

11/27 ふれあい広場2011



野口俊之医師



老人や障がい者と住民の交流を促進する目的で村社会福祉協議会主催の『第14回ふれあい広場2011』さらべつが老人保健福祉センターで開催されました。

会場では、福祉用具の展示・体験やリサイクルバザーの販売コーナーなどが設けられ、そばやおにぎりなども無料で提供されました。一方で娯楽室のステージでは、さらべつかしわ太鼓保存会の演奏で開幕。カラオケ、舞踊、手品なども披露され、村国保診療所野口俊之医師の「本日は怖いおフロの話」と題された講話では、「長湯をしない」、「入浴前後の水を分補給」など、安全な入浴法などが紹介されていました。



『ときめきイルミネーション』の点灯式が役場車両センター駐車場で開催され、冬の夜空を照らす瞬間を見ようと多くの皆さんが集まりました。

点灯式では、村観光協会の皆さんが温かいコーンポタージュやマシユマロ焼きなどを提供しながら点灯時刻の午後5時を待ちます。いよいよ時刻となり三ツ山忠観光協会長のカウントダウンで国道から農村公園までに取り付けられた電球が一斉に点灯。会場からは歓声が上がり、子どもらはライトアップされた木の下まで駆け寄り、色とりどりの夜空を見上げていました。

2月14日まで、午後5時から午後10時まで毎日点灯されます。

12/1

ときめきイルミネーション



2月21までの毎週火・金・土曜日
午前11時～午後4時まで営業しています。

11/4

『いどばた』がオープン

村商工会（赤津寛一郎会長）が「街なか移動店舗いどばた」を村老人保健福祉センターのロビーでオープンさせました。

移動店舗は、市街地まで買い物に出かけるのが大変な高齢者や、施設利用者の利便性を高めるための試験販売で、村内のスーパーや衣料品店など13事業所が参加して共同販売・配送事業をしています。

初日は、商工会関係者らが集まりセレモニーが開かれ、赤津会長が「皆さんの期待に応え、不自由をかなえないよう努力していきます」と挨拶。

開店とともに多くの皆さんが来店し、早速、果物や衣料品などを手に取り、会計を待つ長い列ができるほどの盛況ぶりをみせていました。



11/6 じゃがいもカップを開催

さらべつカントリーパーク（株式会社）さらべつ産業振興公社三ツ山忠社長が主催するパークゴルフ大会「第6回じゃがいもカップ」がオートキャンプ場内のコースで開催され、十勝管内からの参加者を中心に128名が腕前を競いました。

開会式では三ツ山社長が「シーズン最後の大会です。納得のいくスコアが出るよう頑張ってください」と挨拶。

大会は、18ホールを2周する全36ホールで競われ、今年は男子の部で小原恵二さん（鹿追町）がスコア102、女子の部で男澤恵子さん（中札内村）がスコア100で優勝しました。

11/20 本と人をつなぐ図書館を



は、本と人をつなぐためにあり、図書ボランティアが活動することで図書館の活性化につながります。少ない人数の図書館職員ではできないことをボランティアの手を借りてできるようになり職員にも刺激を与えてくれます」と話していました。



JAさらべつ青年部（山角雅男部長）が更別幼稚園と上更別幼稚園の園児たちと交流会を開き、豚汁づくりとバターづくりに挑戦しました。

豚汁の材料は、青年部と園児が一緒に植えた、9月末に収穫した玉ネギやニンジンなどを使用。材料を切り、グツグツと鍋で煮込んでいる時間を使って今度はバター作り挑戦です。子どもらは青年部のお兄さんたちに作り方を教わり、勢いよく牛乳の入ったペットボトルを振りまわす。次第に液体が固体になってバターができ始めると不思議そうに中身を確認。2時間程で料理が全てできあがり、皆そろって「いただきます」。おかわりに並び子どもたちの姿もあり、あつという間に完食していました。

11/28

収穫野菜でクッキング！

お知らせ

村の財政状況を公表します

村では、財政状況を皆さんに公表しています。平成22年度の決算状況と平成23年度上半期の財政運営状況をまとめた『財政状況説明書』を閲覧することができますので、ご希望の方は役場総務課へお訪ねください。

- 閲覧期限 平成24年11月30日まで
- 問い合わせ 役場総務課財務担当 ☎52-2111

季節労働者 通年雇用セミナーを開催

帯広・南十勝通年雇用促進協議会で、通年雇用化を目指す季節労働者の方に向けたアドバイスや資格取得助成事業の説明などをするセミナーを参加料無料で次のとおり開催します。

- 日時 1月16日(月)、1月17日(火) いずれも午後1時30分～午後3時30分
- 場所 16日：村ふるさと館大会議室 17日：帯広コア専門学校
- セミナー内容

『幸せなキャリアのための7つの習慣』講師～帯広コア専門学校理事長 神山恵美子氏

- その他 セミナー終了後、季節労働者の方へご希望により資格取得助成事業などの個別相談を行います。
- 申し込み・問い合わせ 帯広・南十勝通年雇用促進協議会事務局 ☎24-9000

募集

北海道消費生活モニターを募集します

道内の消費生活に関する意見・要望や生活必需品の供給と価格動向を把握し、消費生活の安定と向上を図るため、北海道では平成24年度消費生活モニターを募集しています。

- モニターの職務
 - ◆生活必需品の価格、出回り状況の月例調査
 - ◆商品・サービスへの調査や必要に応じたアンケート調査
- モニターの任期 平成24年4月1日～平成25年3月31日
- 募集人員 1名
- 謝礼 月額1,800円(予定)
- 申し込み期限 1月31日(火)
- 申し込み・問い合わせ

役場産業課(ふるさと館内)商工担当 ☎52-2211

税

お知らせください 家屋の異動

次のような場合には役場住民生活課へお知らせください。

- ◆固定資産税を課税されている家屋を取り壊したとき
- ◆家屋を新築・増改築したとき 床面積20平方メートル以上で、一定程度の壁がある建物(車庫・物置などを含みます)の新築などをご予定の場合や、新築・増改築などをされた方のうち、家屋評価にお伺いしていない場合
- ◆未登記の家屋を売買、贈与したとき
- 連絡・問い合わせ 役場住民生活課固定資産税担当 ☎52-2112

固定資産税第4期 納期限は1月31日(火)

- 納税には便利で確実な口座振替をご利用ください。
- 問い合わせ 役場住民生活課固定資産税担当 ☎52-2112

役場職員(障がい者枠)を募集します

村では、障がい者枠(身体障がい)採用の事務職員を募集します。採用を希望される方は、次の受験要領により応募してください。

- 採用数～1名
- 受験資格
 - ◆身体障害者手帳の交付を受けている方
 - ◆普通自動車運転免許取得または取得見込みの方
 - ◆高等学校卒業以上の学歴を有する方

- ◆昭和57年4月2日以降に生まれた方
- ◆自力で通勤でき、介護なしで勤務可能な方
- 試験場所～更別村役場
- 試験内容～教養試験、適正試験、面接試験
- 申込方法～自筆の履歴書を役場総務課に持参または郵送で提出してください
- 採用日～平成24年4月1日
- 問い合わせ～☎089-1595 更別村字更別南1線93番地 役場総務課庶務担当 ☎52-2111

募集期限 1月24日(火)
試験日 1月31日(火)

No.7 冬の火災を防ぐ

寒い日が続く、家の中で過ごす時間が多くなる季節になりました。そしてこの季節に手放せないのが暖房器具です。特に冬の火災は、暖房器具からの出火が多く発生します。ストーブ、こたつの消し忘れには、くれぐれも注意してください。

■電気ストーブが原因の火災

電気ストーブで火災が発生するほとんどの原因が、ストーブの近くに燃えやすい物を置いていたり、誤って物が接触してしまっただけです。

布団やカーテンの側で使用したり、ストーブの上で洗濯物を乾燥させたりすることはとても危険な行為です。

■石油ストーブが原因の火災

ポータブル石油ストーブで、火を着けたまま給油し火災が発生するケースが多くなっています。必ずいったん火を止めてから給油してください。また、部品の経年劣化や日頃の手入れ不足から火災の原因となる場合があります。手入れをこまめにし、部品の傷みに気付いたらすぐに修理するか、新しい器具への買い替えを考えましょう。

ストーブを使うときの約束

- ストーブで洗濯物を乾かすのはやめましょう。
- ストーブを家具やカーテンに近づけないようにしましょう。
- 確実に火を消してから給油をしましょう。
- 部屋に誰もいないときは必ず火を消しましょう。
- ストーブの周りにはスプレー缶などを置かないようにしましょう。



シリーズ 今日からできる 防災対策

地域の未来づくりに役立てます

平成24年経済センサスー活動調査ー

平成24年経済センサス活動調査は『経済の国勢調査』とも言われ、農林漁家などを除く全国すべての企業・事業所を対象に調査が行われます。日本経済の「いま」を知るため、暮らしや地域などをより良くするための重要な統計調査です。

調査結果は、国民総生産(GDP)や道民所得などの推計、産業振興や企業誘致の施策、消費税を道や村などに交付する際などの基礎資料として活用されます。

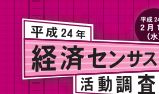
正確な統計資料を作成するためにも、皆様のご協力をお願いします。

『平成24年経済センサス活動調査』の概要

- 調査票配布日 1月中旬～1月末日までに統計調査員が訪問し、調査票をお届けします。
- 調査期日 2月1日現在で記入してください。
- 調査票回収 2月1日～3月31日の期間で回収します。調査員が訪問し回収しますが、地域によっては郵送での提出をお願いする場合があります。

■問い合わせ 役場住民生活課統計担当 ☎52-2112

『経済の国勢調査』です。全国の全ての企業・全ての事業所が対象です。



<http://www.stat.go.jp/data/e-census/2012/index.htm>

経済センサス

検索



おた よしき
太田 佳来くん
平成23年1月6日生
曙町

長男よしきです。いつもニコニコ笑顔で家族みんなを癒してくれています。お姉ちゃんが大好きで追いかけてばかり。これからも姉弟仲良く元気に成長してね。

宇秋・美香



わた なべ ゆうき
渡邊 友希くん
平成23年1月13日生
曙町

我が家のアイドル友希ぼうです。もう可愛くて仕方ありません!!友達いっぱい、希望いっぱいに育てて欲しいです。目標友達100人、戸どうぞよろしくお願ひします。

正和・知子



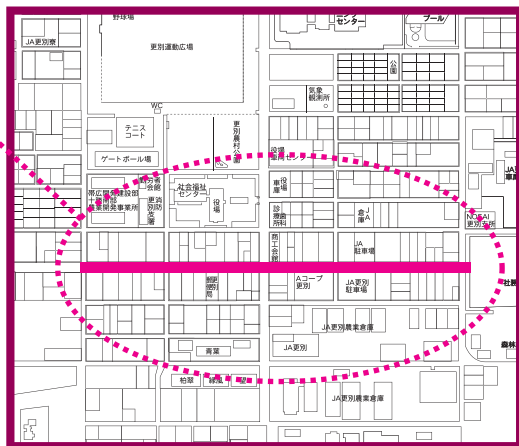
道道の測量にご協力ください



更別停車場線・更南更別停車場線(更別本通り)

十勝総合振興局帯広建設管理部では、歩道整備から15年が経過し、変状が見られるようになった更別市街地のインターロッキングブロックの状況確認のため、測量調査を予定しています。

調査期間は1月18日から3月21日の間です。期間中はご迷惑をおかけしますが、ご協力よろしくお願いします。



●問い合わせ 十勝総合振興局 帯広建設管理部大樹出張所 ☎(01558) 6-3141

村交通安全計画を策定

平成23年度から平成27年度までを期間とする第9次更別村交通安全計画が策定されました。交通事故死ゼロ日数の目標を2,000日として、今後も住民が主体となり、地域特性に応じた取り組みを行う参加・協働型の交通安全活動を推進していきます。詳しくは、村ホームページをご覧ください。役場住民生活課へお問い合わせください。

➡ 高齢者及び子どもの安全確保への対応
バリアフリー化された道路環境の整備、子どもの安全確保のため歩行空間の整備を積極的に推進します。

➡ 高規格幹線道路開通に伴う交通安全対策
高規格幹線道路を利用する車両が多くなることが想定されることから、歩道や警戒標識などの交通安全施設整備を積極的に推進します。

➡ 住民自らの意識の醸成
教育普及啓発活動を充実させ、住民自らが安全で安心な交通社会の形成に積極的に関与していくような仕組みづくりをつくります。

●問い合わせ 役場住民生活課住民生活担当 ☎52-2112



SPORTS

11/23 行政区対抗
バスケットボール大会

- 団体 曙町
- 優勝 チームあたか
- 2位 更別区
- 3位 個人
- 最優秀選手賞 大林朋生(曙町)
- 優秀選手 角玄真也(あたか)

- 得点王 【男子】森田邦彦(あたか)
- 【女子】鹿熊加奈子(あたか)
- 優勝 森田 譲(旭区)
- 2位 道田好美(あたか)

フリースロー

●優勝 森田 譲(旭区)

●2位 道田好美(あたか)



※敬称略

農林環境改善センター 図書室 今月のおすすめ本

子どもとキッチンに立つことはとても貴重な時間です。無理強いせず、できることだけ子どもにさせ、一緒に料理を楽しみましょう。

4歳からのキッチン子どもだってこんなに作れる! 渡辺ゆき/著



『ガリガリ君』『瞬足』などのヒット商品は、どうやってできたのだろうか? 商品を生み出す大人たちのいきいきとした働く姿が見えてきました。

ヒット商品研究所へようこそ! こうやまのりお/著



心の琴線に触れる音の風景。日本の四季の移り変わりや伝統と繊細な感性が生み出した音の表現を描いた一冊です。

日本の音 コロナブックス編集部/編



普通救命講習を開催します



南十勝消防事務組合更別支署では、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い、異物除去法や止血法などを学べる「普通救命講習I」を開催します。3時間の講習後、修了証を交付します。

＋日 時 2月8日(水) 午後1時～午後4時
＋場 所 更別支署 2階和室
＋定 員 先着20名
＋申込期限 2月2日(木)まで
＋申し込み 南十勝消防事務組合 更別支署消防グループ ☎52-2201



Atorie アトリ絵

柏町 齋藤 咲彩さん



『学校生活について』

『もっと楽しい学校へ』

農業科1年 秦 大地
平成23年度の入学生として、初めて生徒会の会計をやることになりました。今まで生徒会だとか学校に係るような事をやりたくなかった私でしたが! 今回なんと生徒会をやることになりました。

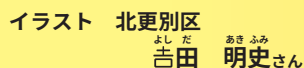
なぜ私が生徒会をやることになったのかは、話が長くなるので簡単に説明すると、どんなものかやってみようという好奇心です。全然話が長くないと思われかもしれませんが、結構悩んだ結果です。

タイトルの一部にもなっていますが、正直今の学校は、すげーつまらない! と思っています。『じゃあ、楽しい学校にできるのか?』という方もいると思いますが、必ずしも楽しい学校にできるとは思いません。でも全員ではなくても、一人でも楽しいと思えるような学校にできるように頑張る努力していけばいいと思います。自分は、ものすごく未熟で何



もできない一人の人間ですが、生徒会に入ったからには一人でも多くの仲間が笑って学校生活を送ってもらえるような活動に取り組んでいきたいです。『生徒会』という戦場に何もよく分からないで飛び込んでしまいましたが、なんとか先輩の生徒会役員の皆さんについていけるように全力で頑張っていきたいと考えています。

個人的な目標としては、自動車関係の仕事に就きたいと考えているので、これから、学校での授業も私の興味のある授業が増えたと聞いていたので楽しみにしています。3年生になると、現場実習という授業で、今まで先輩がお世話になった、自動車関係の会社で勉強させてもらえれば嬉しいと考えています。その時は宜しくお願いします。



14